

## 平成24年度 一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会事業報告

### I 総括

一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会は、平成24年4月9日にそれまでの任意団体から衣替えして新組織で出発した。協会の活動理念は、個々の会員単独では困難な観光・誘客事業に対し、協会のスケールメリットを生かして主体的に実施することにより観光振興を図り、市場の拡大と創出を行い、地域経済の活性化に貢献することである。

平成24年度については、観光産業を取り巻く環境の変化に適応しながら、活動理念に基づいた各施策を行い、事業の連続性にも配慮して推進した。

#### (1) 第3種旅行業免許の取得

平成24年10月に第3種旅行業免許を取得し、地域の観光素材と素材拠点間の交通や体験、食事等をセットにした着地型旅行商品の造成・販売を開始した。またグリーンツーリズムやスポーツツーリズム等、新しい旅行需要に適合するための体制整備と施策を展開した。

#### (2) コンベンション誘致の強化

公益財団法人とっとりコンベンションビューローと連携して、県内外各種団体に対しコンベンション誘致活動を実施した。平成24年度は補助金の枠を増額しており、支援制度の充実とPRの強化も併せて行った。

#### (3) 砂の美術館の運営と物産販売

鳥取砂丘の中の新しい中核施設として各方面から好評を頂き、初年度の来場者は50万人を超えた。美術館を運営する協会としては下記3点に注力して事業展開を図った。

- ①大勢の来場者への接遇・おもてなしの規範になる施設運営を行う。
- ②美術館内のみで販売する物販商品揃えにより、砂の美術館への指向性を一層高める。
- ③来場者の施設内動線を解析し、次年度への施設運営の改善を行う。

#### (4) 二次交通の整備検討

検討委員会を設置し、ループ麒麟獅子バスの運行改良を検討した。JRや飛行機便との接続性に配慮し、旅行客の動きにマッチして一次交通とのアクセス性の向上を図り、かつ乗降客の多い地点に重点的に停車する新ダイヤを設定した。平成25年度秋に新ダイヤで運行開始する予定である。

#### (5) 国際観光の推進

訪日観光客の増加は国家的命題であり、国際観光は避けて通ることが出来ない。本協会も平成24年度は受入体制を強化して、外国人観光客向けスタッフの常駐体制を敷き、日本政府観光局（JNTO）から外国人案内所カテゴリー2の認定を平成24年10月に受けた。

東日本大震災による訪日需要の収縮は平成24年度には回復し、窓口カウンターを訪れる外国人客は大幅に増加した。更に近隣諸国からの鳥取への来訪を促す為、ロシア極東のウラジオストクの旅行会社連合7社と観光情報の相互交流に関する覚書を取り交わし、鳥取の観光情報を逐次提供する事により今後のロシアインバウンドの端緒とした。

訪日観光客は漸増していくため、研修会を数回開催し、会員の受入れ環境整備の支援も行った。

#### (6) 鳥取駅周辺の観光案内所、バス乗降口の整備

鳥取駅の耐震改修時期に合せ、観光案内所ブースを更新した。また鳥取駅からループ麒麟獅子バス乗り場までの表示を充実させ、利便性の向上を図った。

また昨年秋に行われたJRDCキャンペーンに合わせてJR利用客のおもてなしを行った。

## Ⅱ 会議開催状況

### 1 総会（1回）

一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会設立総会

開催日時：平成24年4月5日（木）

開催場所：ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」

議案：第1号議案 平成24年度事業計画（案）について  
第2号議案 平成24年度収支予算（案）について  
第3号議案 常勤の役員の報酬について  
第4号議案 理事及び監事の費用弁償について

### 2 理事会（6回）

#### 第1回定例理事会

開催日時：平成24年5月21日（月）

開催場所：鳥取県東部広域行政管理組合会議室

議題：1）平成23年度事業実績報告について  
2）平成24年度事業の進捗状況について  
3）業務推進体制について  
4）諸規程の整備について  
5）第3種旅行業の取得について  
6）会員入会の承認について  
7）委員会の設置について

#### 第2回定例理事会

開催日時：平成24年7月17日（火）

開催場所：鳥取県東部広域行政管理組合会議室

議題：1）平成23年度及び平成24年度鳥取市観光協会決算報告について  
2）事業の進捗状況について  
3）新規会員入会審査について  
4）平成24年度収支補正予算（第1号）（案）について  
5）物産事業の運営に関する規程（案）について

#### 第3回定例理事会

開催日時：平成24年9月18日（火）

開催場所：鳥取県東部広域行政管理組合会議室

議題：1）事業の進捗状況等について  
2）新規会員入会審査について  
3）平成24年10月1日付人事と機構改革について  
4）平成25年度の主要事業と鳥取市への要望事項（案）について  
5）ループ麒麟獅子バス運行及び整備検討委員会の設置について  
6）平成24年収支補正予算（第2号）（案）について

#### 第4回定例理事会

開催日時：平成24年11月19日（月）

開催場所：鳥取シティホテル 日本海の間

- 議 題：1) 事業の進捗状況等について  
2) 事務局体制について  
3) ウラジオストック訪問報告について  
4) 外国人観光案内所の認定について  
5) 事業の実施報告と今後の予定について  
6) JR山陰DCのおもてなしについて  
7) 鳥取県観光連盟プロモーター会議報告について  
8) 新規会員入会審査について  
9) 職員接客研修実施について  
10) 鳥取駅周辺宿泊施設等のトイレ解放について  
11) 協会シンボルマーク審査について  
12) ループ麒麟獅子バス運行計画に係わる乗降客調査について

#### 第5回定例理事会

開催日時：平成25年1月21日（月）

開催場所：鳥取県東部広域行政管理組合会議室

- 議 題：1) 各事業報告について  
2) 平成24年度決算見込額について  
3) 平成25年1月からの事務局体制について  
4) ループ麒麟獅子の調査報告と課題について  
5) 新事務所移転について  
6) 協会シンボルマーク結果について  
7) 新規会員入会審査について  
8) 次年度の事業計画について

#### 第6回定例理事会

開催日時：平成25年3月27日（水）

開催場所：鳥取県東部広域行政管理組合会議室

- 議 題：1) 事業の進捗状況等について  
2) 鳥取市観光コンベンション協会諸規程について  
3) 平成25年度鳥取市観光コンベンション協会事業計画及び収支予算（案）について  
4) ループ麒麟獅子の新運行計画（案）について  
5) 鳥取市観光コンベンション協会事務所移転と新店舗設置について  
6) 鳥取市観光コンベンション協会定款の一部変更について  
7) レンタサイクルの運営について  
8) 平成25年度鳥取市観光コンベンション協会職員採用計画について  
9) 新規会員入会審査について

### 3 ループ麒麟獅子バス運行及び整備検討委員会（3回）

委員長：江原 忍

副委員長：岡部 哲彦

委員：三橋 英雄、瀧本 覚、中嶋 敬治、中島 文明、鈴木 敏

#### 第1回

開催日時：平成24年12月12日（水）

開催場所：鳥取県東部広域行政管理組合会議室

議題：1) ループ麒麟獅子バス運行の現状と調査報告について  
2) 今回の調査を受けての課題抽出について  
3) 今後の事務日程について

#### 第2回

開催日時：平成25年1月18日（金）

開催場所：とりぎん文化会館第6会議室

議題：1) ループ麒麟獅子運行計画（案）について  
2) 今後10年間のループ麒麟獅子運行概算収支見通しについて  
3) 今後の事務日程について

#### 第3回

開催日時：平成25年2月26日（火）

開催場所：鳥取県東部広域行政管理組合会議室

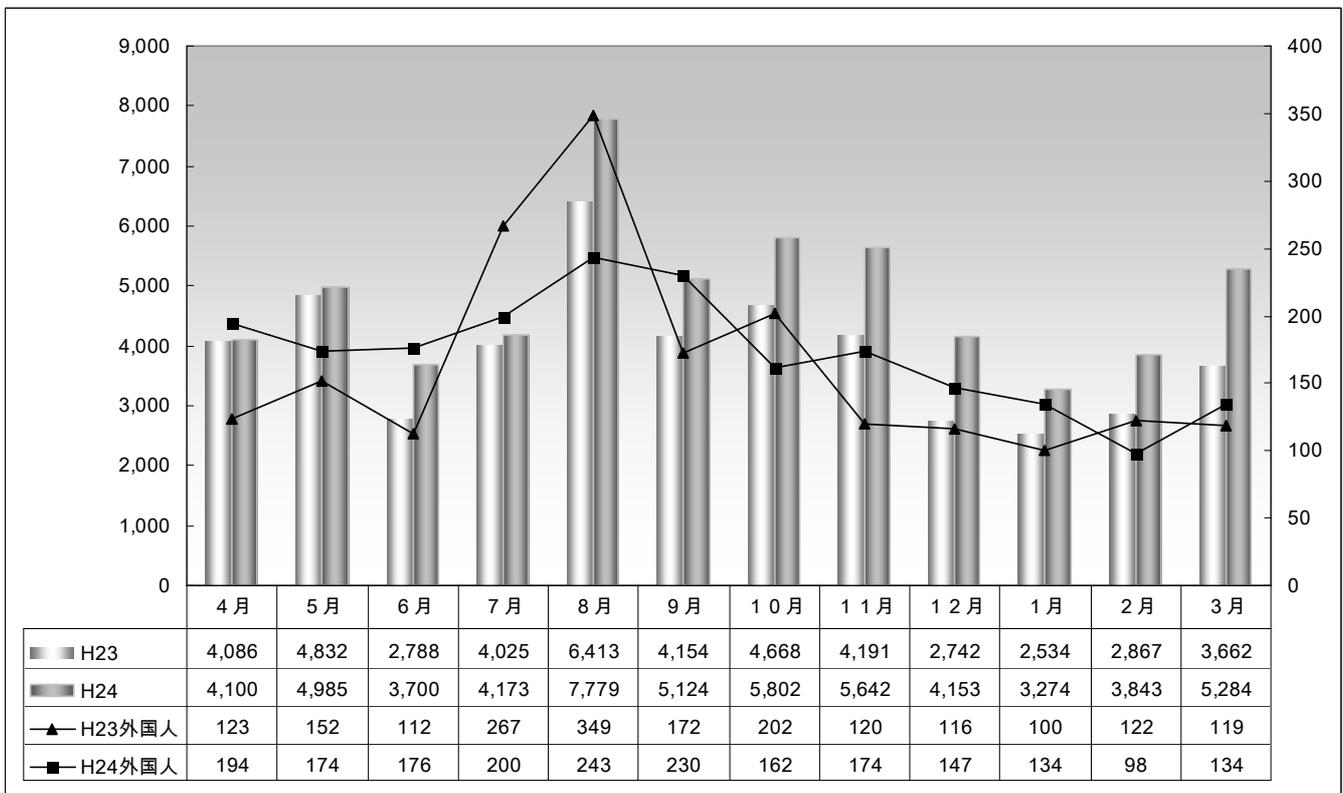
議題：1) ループ麒麟獅子運行出発時刻（案）について  
2) 中型路線バス仕様による概算収支見通し（案）について  
3) 今後の事務日程について

### Ⅲ 事業実施状況

#### 1 観光案内事業

事業名	鳥取市観光案内所事業
事業内容	鳥取市を訪れる観光客へ観光案内や宿泊案内を行うことで、「観光都市 鳥取」の玄関口の役割を果たし、鳥取市のイメージアップに貢献するとともに、コンベンションやイベント、チケット販売等の情報発信を行うなど観光案内を行うと共に地域住民への便宜を図る。
実施場所	鳥取市観光案内所
従事者の人数	3名
事業の成果	JR鳥取駅耐震改修工事に伴い、平成24年8月11日からJR鳥取駅北口の入口に新たな施設にてリニューアルオープンした。 <b>【案内実績】</b> 窓口案内人数：57,865人（前年度：46,962人） うち、外国人：2,072人（前年度：1,954人） 窓口案内人数は、前年度に比べ約23%、外国人への案内人数についても約6%増加した。

#### 【観光案内の推移】

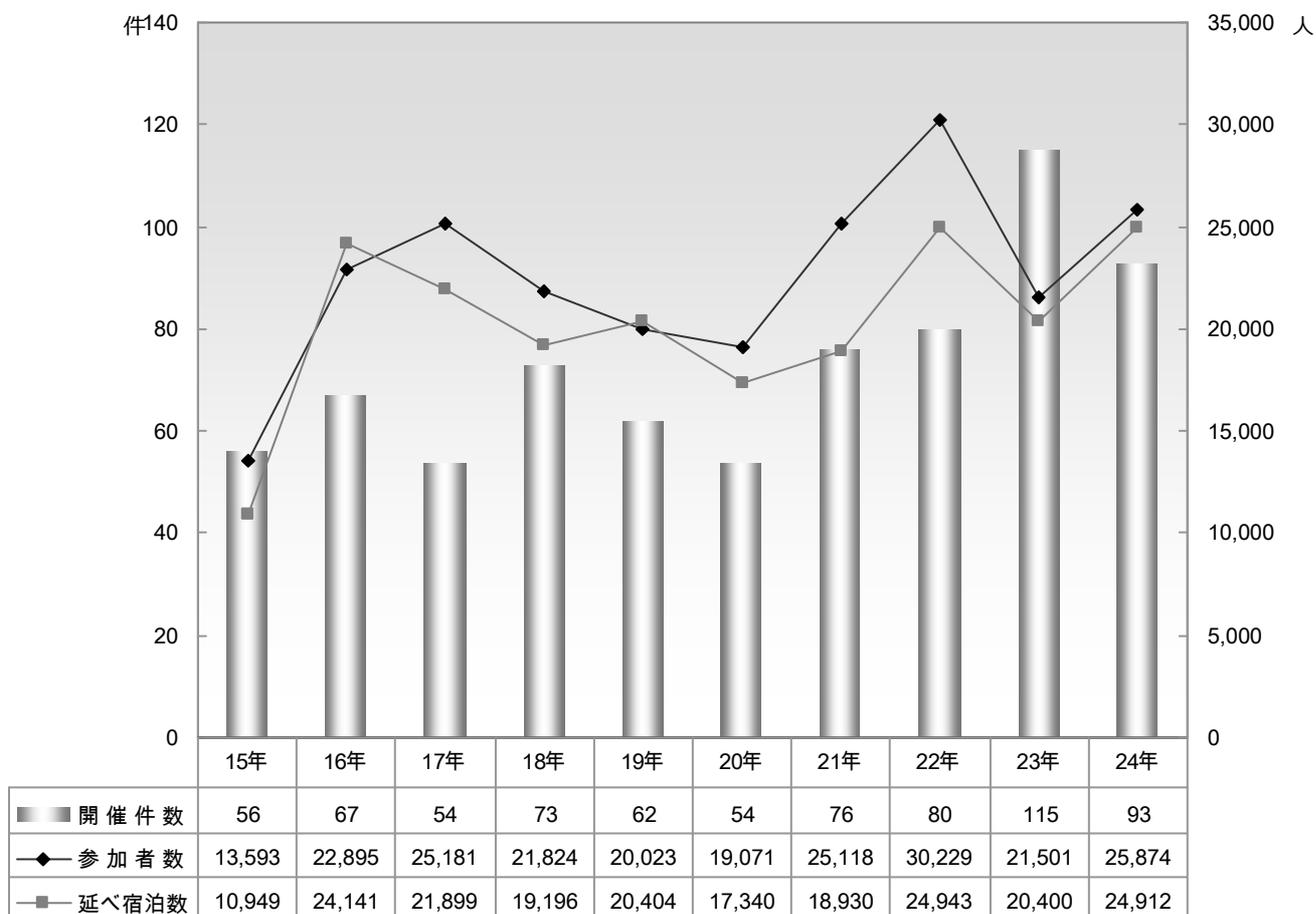


事業名	国際観光客サポートセンター事業																				
事業内容	<p>国際観光客サポートセンターにおける外国人観光客への観光案内業務及び外国人観光客用案内ツールの開発・作成業務の実施。</p> <p>【鳥取市国際観光客民間サポーター事業】 外国人旅行者へのガイドや通訳等のサポートを行う。また各種交流イベント等を行い、地域在住の外国人との観光分野におけるコミュニティ形成も図りつつ地域をあげた国際観光推進を目指すものである。</p> <p>【外国人観光客おもてなし講座事業】 市内施設（宿泊・土産・飲食・運輸交通・文化等）への外国人おもてなし講座を実施し、関連企業及び関連施設との意見交換会等を行い、受入環境の改善に取り組む。</p>																				
実施場所	国際観光客サポートセンター																				
従事者の人数	4名																				
事業の成果	<p>平成24年10月、国際観光客サポートセンターは、日本政府観光局（JNTO）より外国人案内所カテゴリー2に認定され、本格的な外国人案内所としての機能を果たした。</p> <p>【案内実績】 窓口案内人数：12,261人（前年度：7,228人） うち、外国人：3,820人（前年度：3,183人） 外国人観光客周遊タクシー受付件数：500件（前年度：435件） 窓口案内人数は、前年度に比べ約70%増加、外国人への案内人数についても約42%増加、外国人向けの周遊タクシー受付件数は、前年度に比べ約15%増加した。</p> <p>【鳥取市国際観光客民間サポーター】 今年度は、2名正式にサポーターとして認定し、各種研修及び案内活動等を実施した。</p> <p>【外国人観光客おもてなし講座】 出前講座：20回 施設に出向いて、外国人に対する言語やおもてなし等の講座を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>観光施設</td><td>11回</td></tr> <tr><td>宿泊施設</td><td>4回</td></tr> <tr><td>土産品施設</td><td>3回</td></tr> <tr><td>運輸・交通</td><td>2回</td></tr> </table> <p>外国人おもてなし研修会（平成25年3月実施）参加者数：47名 講演「ロシア人観光客の受け入れ環境の整備について」 講師：佐藤久雄氏（CONSULTANT.RU 合同会社 代表社員） イリーナ・チェブラコワ氏（ロシアサポートデスク職員）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>観光施設</td><td>5名</td></tr> <tr><td>宿泊施設</td><td>9名</td></tr> <tr><td>土産品施設</td><td>1名</td></tr> <tr><td>飲食施設</td><td>1名</td></tr> <tr><td>運輸・交通</td><td>12名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>19名</td></tr> </table>	観光施設	11回	宿泊施設	4回	土産品施設	3回	運輸・交通	2回	観光施設	5名	宿泊施設	9名	土産品施設	1名	飲食施設	1名	運輸・交通	12名	その他	19名
観光施設	11回																				
宿泊施設	4回																				
土産品施設	3回																				
運輸・交通	2回																				
観光施設	5名																				
宿泊施設	9名																				
土産品施設	1名																				
飲食施設	1名																				
運輸・交通	12名																				
その他	19名																				

## 2 企画誘致事業・観光推進事業・地域活性化事業・広告宣伝活動事業

事業名	コンベンション誘致事業
事業内容	鳥取市におけるコンベンションの開催を推進し、地域経済への波及効果を図る。また第3種旅行業免許の取得により、コンベンション開催に伴うエクスカージョン等を主体的に実施する。
実施場所	協会事務局及び鳥取市観光コンベンション推進課内（出向）
従事者の人数	2名
事業の成果	<p>【コンベンション開催実績】</p> <p>開催件数 : 93件（前年度115件）</p> <p>参加者数 : 25,874名（前年度21,501名）</p> <p>述べ宿泊者数 : 24,912名（前年度20,400名）</p> <p>・開催規模の大きいコンベンション誘致の影響で、参加者数及び延べ宿泊者数は前年度に比べ約20%増加した。</p>

### 【コンベンション開催の推移】

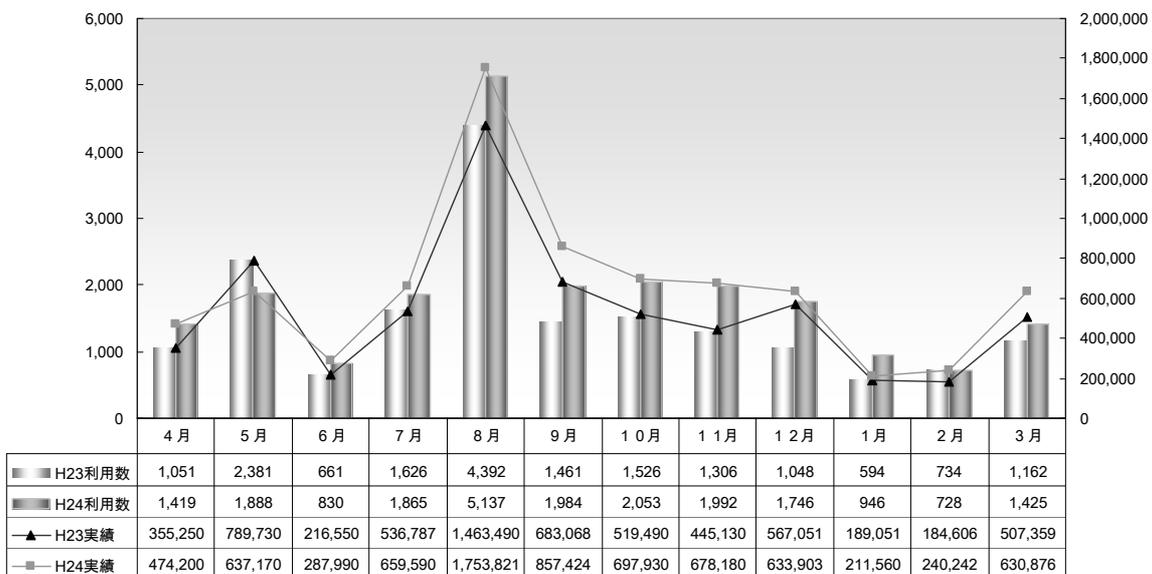


事業名	着地型商品造成・誘客宣伝事業及び第3種旅行業
事業内容	<p>各地域の観光素材を幅広く発掘し、観光資源化への助言を行なうと共に、年度単位の重点計画を立案して着地型商品を造成する。</p> <p>着地型旅行形態の進展に伴い、観光素材を旅行会社やネットエージェントの旅行商品に展開する動きに対応し、鳥取に誘客する為の営業宣伝活動を行なう。</p> <p>第3種旅行業免許の取得による、コンベンション開催時のエクスカージョンや、着地型商品を活用した旅行プランの主体的な展開・販売。</p>
実施場所	協会事務局
従事者の人数	3名
事業の成果	<p><b>【第3種旅行業】</b> 鳥取県知事登録旅行業第3-67号（第3種旅行業）として、平成24年10月1日より業務を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般顧客への手配旅行業務</li> <li>・砂の美術館、緑化フェア等の入場券の販売等</li> </ul> <p>売上実績：3, 205千円（平成24年10月～） その他手数料：3, 262千円</p> <p><b>【着地型商品造成】</b> 以下の商品を造成し、県内外の顧客への展開を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取砂丘ならびに砂の美術館を中心とした周辺観光と食事処を組合わせた観光マイスターがご案内するタクシープラン</li> <li>・ANAで訪ねる鳥取因幡満喫プラン（首都圏対象）</li> <li>・「因幡の白うさぎ」ゆかりの地を巡る縁結びプラン</li> <li>・岩美町と連携したジオエリアノルディックウォークプラン等</li> </ul> <p><b>【誘客宣伝事業】</b> 以下の催事への参加及びエージェントへの営業活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JRDC関西観光商談会と関西エージェント営業（5/16～17）</li> <li>・関西バス会社ならびにマスコミ営業（7/12～13・大阪/兵庫）</li> <li>・中四国エージェント営業（10/22～24・香川/高知/愛媛/広島）</li> <li>・因幡但馬丹後観光協議会JR大阪駅冬の観光PR（11/6）</li> <li>・首都圏旅行会社観光情報説明会（2/8～9・東京）</li> </ul>

事業名	観光推進事業及び地域活性化事業（イベント事業）
事業内容	<p>協会の自主事業及び受託事業の実施</p> <p>ア) 桜まつり事業</p> <p>イ) 観光客入込調査事業</p> <p>ウ) 観光パンフレット作成事業</p> <p>エ) 因幡図鑑事業</p> <p>オ) 観光ボランティア活性化事業</p> <p>カ) ふるさと祭り東京派遣事業</p> <p>キ) 鳥取市観光大学事業</p> <p>ク) ループ麒麟獅子運営事業及びレンタサイクル事業</p> <p>ケ) 各地域イベント事業</p>
実施場所	協会事務局
従事者の人数	5名
事業の成果	<p>ア) 桜まつり事業（ぼんぼり設置・点灯）</p> <p>実施期間：平成24年3月27日～4月7日の12日間</p> <p>開催場所：鳥取城二の丸周辺及びお堀端、袋川右岸</p> <p>イ) 観光客入込調査事業</p> <p>実施期間：平成24年8月11日～15日</p> <p>事業内容：「鳥取しゃんしゃん祭」に対する意識調査の実施</p> <p>ウ) 観光パンフレット作成事業</p> <p>事業内容：観光パンフレットの作成及び県外観光客への送付</p> <p>作成内容：鳥取旅時間 75,000部、市街地マップ 60,000部</p> <p>砂丘周辺案内図 35,000部作成</p> <p>エ) 因幡図鑑事業</p> <p>事業内容：「因幡図鑑」の作成 作成部数：15,000部</p> <p>オ) 観光ボランティア活性化事業</p> <p>事業内容：きなんせえ家を拠点とした鳥取城跡の周辺ガイド</p> <p>実績：ガイド件数：286件、案内人数：847名</p> <p>カ) ふるさと祭り東京派遣事業</p> <p>実施期間：平成25年1月12日～20日</p> <p>事業内容：「砂の美術館」PRブースでの広報活動及びしゃんしゃん傘踊り披露</p> <p>キ) 鳥取市観光大学事業</p> <p>事業内容：観光産業従事者を対象とした鳥取市観光大学の実施</p> <p>受講者数：37名（うち合格者：34名）</p> <p>観光マイスター数：288名（平成25年3月現在）</p>

<p>事業の成果</p>	<p>ク) ループ麒麟獅子運営事業及びレンタサイクル事業</p> <p><b>【ループ麒麟獅子運営事業】</b></p> <p>利用人数：22,013人（前年度：17,942人）          売上実績：7,763千円（前年度：6,458千円）</p> <p>利用人数は、前年度に比べ約23%、乗車券販売は、約20%増加した。今年度は検討委員会を設置し、乗客の動態調査により運行ルートと時刻の見直し、二次交通の機能強化を検討した。また新型車両への更新についても検討した。</p> <p><b>【レンタサイクル事業】</b></p> <p>利用件数：1,514件（前年度：1,378件）          売上実績：872千円（前年度：738千円）</p> <p>利用件数は、前年度に比べ約10%、実績額は、約18%増加した。</p> <p>ケ) 各地域イベント事業</p> <p>雨滝滝開き祭（国府町）6月2日（土）          扇ノ山山開き祭（国府町）7月7日（土）雨天中止・神事のみ          砂丘ビーチ砂もり大会（福部町）8月5日（日）          鳥取砂丘たこあげフェスティバル（福部町）11月18日（日）</p> <p>（その他イベント）</p> <p>鳥取しゃんしゃん祭（鳥取市）8月11日～15日          鳥取三十二万石お城まつり（鳥取市）10月13日～14日</p>
--------------	--

【ループ麒麟獅子の状況】

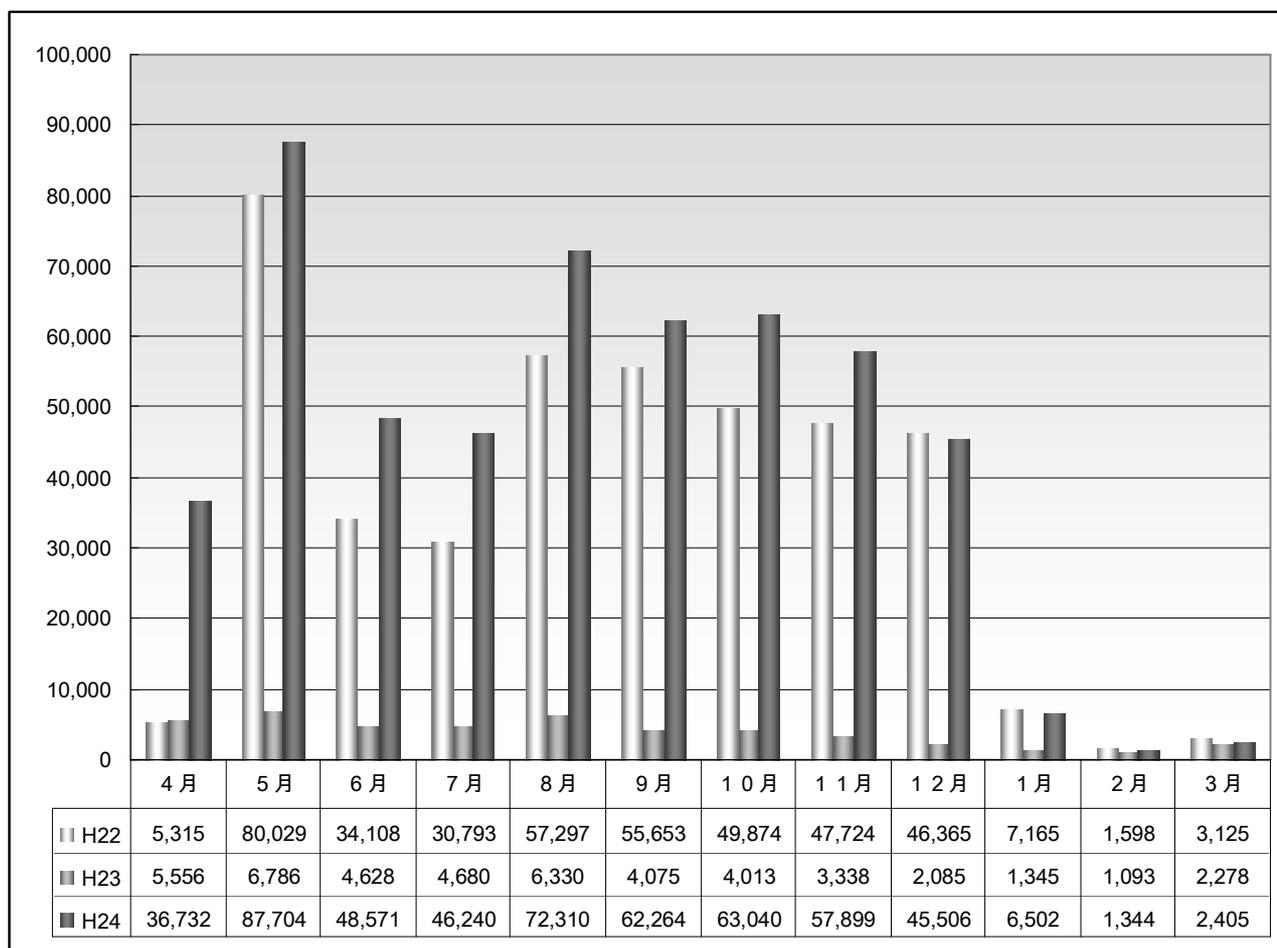


### 3 施設管理事業

事業名	鳥取砂丘砂の美術館管理運営業務及び鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり管理運営業務
事業内容	<p><b>【鳥取砂丘情報館サンドパルととりの指定管理受託業務】</b>          鳥取砂丘及び砂の美術館を訪れるお客様に鳥取県東部の観光情報を案内し、域内での滞在時間増加を目指す。</p> <p>ア) 砂像普及業務          地域における砂像づくり体験や砂像制作補助を通して、地域に根ざす砂像文化の構築と定着を図る。</p> <p><b>【鳥取砂丘砂の美術館の指定管理受託業務】</b>          来場者目標50万人。世界一の砂の美術館を目指す。</p> <p>ア) 各種イベントの実施          テーマに沿った各種イベントを実施し、集客に努める。</p> <p>イ) 砂の美術館オリジナルグッズの開発          ウ) 砂像制作補助業務          エ) PR業務</p>
実施場所	鳥取砂丘 砂の美術館
従事者の人数	21名（うち10名は平成25年1月まで）
事業の成果	<p>来場者数：530,517人（※うち砂の美術館は526,768人）          （H23年度：46,207人 ※砂の美術館開催無し）          （H22年度：419,046人 ※砂の美術館第4期展示開催）</p> <p>砂の美術館とサンドパルととりを合わせた来場者数は、平成23年度に比べ1,148%、平成22年度に比べ27%増加した。          砂の美術館も来場者目標の50万人を達成した。</p> <p><b>【鳥取砂丘情報館サンドパルととりの指定管理受託業務】</b></p> <p>ア) 砂像普及業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ミニ砂像づくり体験の実施              学校、幼稚園などを対象に行い、砂像文化の普及に努めた。</li> <li>○砂像制作              鳥取空港や鳥取駅前などで砂像制作を行い、制作のスキル向上を図った。</li> </ul>

事業の成果	<p><b>【鳥取砂丘砂の美術館の指定管理受託業務】</b></p> <p>ア) 各種イベントの実施 「ケルト音楽の午後」 演奏会 11月18日(日)</p> <p>イ) 砂の美術館オリジナルグッズの開発 砂の美術館ラベルのワインや焼酎を開発し、「砂の美術館売店」にて販売した。その他ポストカードなども制作し、会期後半には、美術館内でのミュージアムショップを試験的に行った。</p> <p>ウ) 砂像制作補助業務 プロ彫刻家による砂像公開制作や、砂の美術館の制作補助を行った。制作サポートスタッフとしてのスキル向上を図ることができた。</p> <p>エ) PR業務 ふるさと祭り東京など、砂の美術館のPR活動を行った。その他様々なメディア対応を通じて砂の美術館および鳥取のPRに努めた。</p>
-------	---

【砂の美術館入場者数の推移】



4 物産振興事業・観光センター事業・インターネットショップ管理事業

事業名	鳥取ブランド商品企画開発事業及び店舗運営事業
事業内容	<p><b>【鳥取ブランド商品企画開発事業】</b> 鳥取県東部を営業の本拠地とする事業者（正会員）と連携し、鳥取産の食材等を有効に活用した加工食品、および鳥取を特長づける産品や鳥取のイメージを象徴化する商品等の開発を行う。また、出展販売や店舗販売等による既存商品の販売・PRを通じて顧客ニーズの動向を読み取り、顧客指向の商品改良や改善策に関するアドバイス・サポートを行う。</p> <p><b>【店舗運営事業】</b> ア) 鳥取駅店…鳥取物産振興の情報発信拠点と位置付け、店舗プラスホームページによって物産情報を集積し発信する。 イ) かる店…鳥取市の観光拠点の一つである賀露地区をベースとし、観光・物産情報発信及び物産販売を行う。 ウ) 砂の美術館売店…鳥取砂丘ならではの商品や砂の美術館のコンセプトに合致した、より相乗効果を高めるような物産販売を行う。 エ) 気高町観光センター…気高町浜村地区に根差した地域振興拠点機能や観光PR及び物産販売を行う。</p>
実施場所	鳥取市ふるさと物産館（鳥取駅店・かる店）、砂の美術館売店、気高町観光センター
従事者の人数	10名
事業の成果	<p><b>【鳥取ブランド商品企画開発事業】</b> ・新規物産会員数：8社 ・24年度物産会員数：69社 ・鳥取市ふるさと物産館ホームページによる広報及び紹介 ・物産展への出展回数：41回</p> <p><b>【店舗運営事業】</b> ア) 鳥取駅店：売上高 7,018 千円（前年 5,096 千円）前年比 137.7% イ) かる店：売上高 40,909 千円（前年 26,789 千円）前年比 152.7% ウ) 砂丘売店：売上高 104,688 千円（前年 60,855 千円）前年比 172.0% エ) 気高町観光センター ：売上高 13,369 千円（前年 14,541 千円）前年比 91.9%</p>

事業名	インターネットショップ管理運営事業
事業内容	鳥取市が直営するインターネットショップ「とっとり市」の顧客業務を運営することによって、鳥取市の生産業者、製造業者との連携・結びつきを深めることで物産振興のより一層の進展を図る。
実施場所	協会若桜町事務所
従事者の人数	4名
事業の成果	鳥取市との協力体制の下、地元特産品の販売促進を図るため、時期に応じたキャンペーンを実施するとともに、らっきょう、二十世紀梨、松葉ガニ及び海産物のPRをホームページ及びチラシ等で展開した。 店舗数：125店舗（平成25年3月現在） 取扱実績額：9,682千円

【物産販売売上高の推移】

